

石川森林管理署

担当者

森林技術指導官：長田昌幸

TEL：050-3160-6100

- 石川県の森林面積は、286千haで県土の68%を占め、このうち34千haが国有林です。
民有林では、これまでに100千haの人工林が造成され、人工林率が4割となっています。一方、国有林の人工林率は8%と極めて低くなっていますが、保安林、国立公園、国定公園などに指定され、国土保全、水源涵養等の公益的機能に対する期待が大きいといった特徴があります。
- 石川県との地域林政連絡会議では、国有林からは、手取川濁水関係、民有林直轄治山事業、育林の低コスト化等について、石川県からは、平成28年度の森林・林業関係事業の概要、二ホンジカ対策等について、それぞれ情報提供が行われました。
- 同会議において、森林整備工事発注見通しを石川県及び森林管理署が合同で発表していくこと、石川県及び森林管理署のフォレスター等による市町村支援を実施すること等が取り決められました。



(地域林政連絡会議)

技術開発と普及

【課題】 海岸林整備における技術の向上及び普及（継続）

【取組状況】

- ・天然更新クロマツ稚樹の育成、葉フルイ病対策及びニセアカシア対策について、石川県林業試験場と共同試験を実施。
- ・教育機関との連携により、森林教室やニセアカシア駆除等を実施。

【成果と今後の課題】

- ・試験場との共同試験の継続により試験成果の蓄積や新たな技術開発に取り組む。
- ・引き続き、森林環境教育やイベント等によるPRを実施。



(小学生によるニセアカシアの駆除)

有害鳥獣対策

【課題】 ニホンジカ対策（継続）

【取組状況】

- ・石川県白山自然保護センターとニホンジカ等の生息状況について共同調査を実施。
- ・調査結果については、石川県、環境省、森林管理署で情報を共有。

【成果と今後の課題】

- ・県内のシカ生息数は増加傾向にあり、生息状況の正確な把握等が必要。
- ・引き続き、関係機関と連携した情報共有や意見交換に取り組む。



(自動撮影カメラで撮影されたニホンジカ)

治山対策の推進

【課題】 手取川上流の大汝国有林における崩壊地対策（継続）

【取組状況】

- ・大汝国有林内の崩壊地対策については、技術検討会の開催など、技術的な観点から工法等について検討。
- ・手取川等濁水関係連絡会の開催などを通じて、関係機関と連携。

【成果と今後の課題】

- ・技術検討会委員の助言も得つつ、引き続き対策を実施。



(石川県立大学・環境省と合同採種)

フォレスター等の市町村支援

【課題】 市町村への森林・林業に係る技術的支援（新規）

【取組状況】

- ・県及び署のフォレスター等で支援チームを結成。白山市を重点取組地区として、「白山市森林林業振興推進会議」を設置
- ・林業事業者等から地域課題等を聴取。
- ・白山市森林整備計画の策定を支援。

【成果と今後の課題】

- ・引き続き、白山市の森林・林業に係る支援を実施。



(列状間伐現地検討会)